

鎌倉発達支援室・自立の学校 事業所における自己評価結果(公表)

平成31年1月調査 ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			放デイの時間を2種類用意し、早期と放デイで時間帯が重なってしまう時に対応している。
	2 職員の配置数は適切である	1	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	視覚的構造化を重視し、大人(支援者)の介入なしに自立的に行動できるよう、構造化を行なっています。	保護者との接触機会が他部門の教室と比較して少ないことが課題。メールや電話などを介して入室した際の様子をフィードバックすることで対応したい。また、月1回程度の定期的なカウンセリングも実施予定。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	日々振り返りのためのミーティングを実施している。	月ごとの目標設定が曖昧なことがある。教室内の目標を明確にし、掲示して視覚化するなど、対応を改善したい。
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2	家族会活動・学習会などで、保護者との接触および以降の確認を行っている。	定期的な接触機会の保障ができておらず、接触頻度も差が生じてしまっている。年度切り替え後は、毎月1回程度の個別カウンセリングを実施していく。
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		評価がまとまったら改善点をホームページ等で公開していく
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0	他部門の職員による査察、評価を月2回以上行い、現状の評価と改善を行っている。	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	2~3ヶ月に1回程度の全体研修会に、職員全員が参加している	本教室は構成会員が少なく、アセスメントの開催回数が少ない。そのため、スタッフは他教室でのアセスメントにオブザーバーとしても参加し、療育・評価の視点の向上に努めている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	メンバー全員にアセスメントを実施し、それを踏まえた個別支援計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	希望者に対し、Vineland-IIやWISC-IIIなどの標準化されたものを実施している。	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	具体的な目標を把握し、定期的なモニタリングも行なっている	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	モニタリングで話し合った支援計画に沿って支援を行なっている	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	複数の専門家間で協議を行い、個別の支援計画を作成している	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	季節ごとの行事、地域で開催されるイベントなどに参加し、毎週1回は異なる活動の場を提供できるようにしている。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	3	0	集団活動を基本としながら、個別的な対応も適宜実施	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	職員間のMTGは毎日終業後に実施している。その場に参加できないスタッフは、WEBで参加したり、共有のためのツールを用いて情報を共有している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	Wed上に記録専用のフォーマットを用意したり、iPadなどで写真を撮り記録を行なっている。	
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	2		人員の関係で参加できないこともある。その場合、本教室での様子などを資料にまとめ、担当者会議の責任者に送付している。
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	鎌倉市の事業所連絡会に参加し、連携して事業所説明会を開催するなどしている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	3		本教室には医療的ケアが必要なメンバーがおらず、これまで関係機関との連携は行っていない。今後も必要に応じて、連携を行っていき
	23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	0	会員のかかっている主治医や地域のクリニックとは連絡体制を構築している。	
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	保育所や幼稚園に行き、担任の先生と共通目的を話し合った	
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0		
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	鎌倉発達支援等と定期的に連絡を取り、助言を受けている	
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	0	保育園、幼稚園に行き、子どもの様子を見たり、行事に参加した	
保護者への説明責任等	28 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	0	鎌倉市の事業所連絡会に参加し、連携して事業所説明会を開催するなどしている。	
	29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	Web上のフォト共有機能や電話などを使い、日々の活動の様子を共有している。	
	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	たすくグループ主催の学習会を月2回以上定期的に実施し、保護者の療育力の向上と保護者同士の交流の機会を保障している。	
	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	料金など、毎年の年度がわりに個別的な説明を行っている	
	32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	0	個別で説明する時間を設けて、同意を得ている	
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	0	日々の活動の報告の際や学習会の折に、普段の教室での様子を踏まえた助言と支援を行っている	メンバーによって接触機会に差が生じてしまっている。新年度からは、月1回の個別カウンセリングをパッケージ化し、メンバー間での差が生じ
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0	保護者同士が繋がる母の会の活動を3月に実施予定	
	35 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2	0	時間を取り、丁寧に話を聞くようにしている	
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	0	毎月月次を発行し、その月のトピックを会員向けにアナウンスしている。	
	37 個人情報の取扱いに十分注意している	2	0	個人情報の取扱いについては、マニュアルに則り厳正に行っている。	
非常時等の対応	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	0	子どもとは絵カード等を使用し意思疎通を工夫している	
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	0		
	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	0	津波を想定した避難訓練など、地域特有の防災訓練も実施している。	
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	0	避難訓練に参加し、保護者にも注意点を伝えている	
	42 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	0	入会時の基本情報収集の段階で、筋ような情報については状況を確認している。入会後も適宜状況確認を行い、変更がある際には、その都度カルテ情報に追加している	
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0	食品を扱うプログラムを行う際は、医師の指示書をもとに、該当時に配慮したプログラムを用意している。	
44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0	共有のためのフォーマットを設定し、蓄積を行うとともに、再発防止についてもスタッフ内で検討している。		
45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	0	虐待防止のための研修会に参加したり、グループ内の全体研修会でも取り上げ研修を行っている。		
46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	0	基本的に身体拘束は行わない。プロンプトとしての身体カイドの方法は、保護者とも共有し、適切に実施している。		